

4. 南関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連 (南関東)	◎	一般小売店〔食料雑貨〕 (経営者)	・新店舗がオープンするため、良くなる。
	◎	一般小売店〔文房具〕 (経営者)	・インバウンドの来店が大変多く、まとめ買いがあるため、客単価が上昇している。今後の旅行シーズンに向けて、更に来客数の増加が見込まれ、売上も上向きになる（東京都）。
	◎	衣料品専門店（経営者）	・資金が持つか心配はあるものの、幾つも新しいことにチャレンジしている。
	○	一般小売店〔家電〕（経 理担当）	・暮れに向かって需要が出てくる。今取り組んでいる仕事の採択が下りれば、その工事に入る。
	○	一般小売店〔印章〕（経 営者）	・秋になり年末を迎えるので、期待している。
	○	一般小売店〔祭用品〕 (経営者)	・10月は行事が少し開催されるという情報を耳にしている。気候が良くなり、人出も増える。
	○	一般小売店〔眼鏡〕（経 営者）	・寒くなると通常レンズしか売なくなるが、何とかやりくりして頑張りたい。米国の株式市場はF R Bの下下げで株価上昇が見込まれる。その反動で日本株の上昇も期待できる。その恩恵を受けたい。
	○	一般小売店〔文具〕（販 売企画担当）	・外商において、民間で大体決まっている案件が幾つかある。官公庁でも幾つか案件があることから、ある程度上向きになる。
	○	百貨店（売場主任）	・様々な物の値上げに消費者が慣れてきて、価格によって必要な商材の購買をやめることはない。年末年始に向かって消費行動が活発になると予測している（東京都）。
	○	百貨店（広報担当）	・秋冬らしい気候になる前提で、年末商戦に向けた需要は国内客、インバウンド共に底堅いとみている。ただし、インバウンドについては、その力強さが本物かどうか中期的な目線で注視する必要がある。いずれにしても現時点で顕在化している大きなリスク要素はないため、緩やかな改善に期待している（東京都）。
	○	百貨店（営業担当）	・物価高などの影響は依然として続くものの、年末に向けた食品やファッションの動きは堅調に推移する。加えて、海外旅行客数のマイナス幅が圧縮されてきている傾向から、全体の来客数は前年を上回ると予測している（東京都）。
	○	百貨店（販売促進担当）	・単価が上がっているなか、食品領域は新ブランド、新商品を中心に価格を気にせずにも買ってもらえている。おせちを始め、年末年始商材への問合せが多く、期待値も高い。ファッション領域は改装中のこともあり、一部のブランドでけん引せざるを得ない（東京都）。
	○	百貨店（販売促進担当）	・現状の9月は気候的に夏の延長であり、本来の秋とは大きく変化しているため、商売的にニーズ獲得が非常に難しい。2～3か月先のクリスマスシーズンは気候、ニーズの安定により改善が見込まれる（東京都）。
	○	百貨店（販売促進担当）	・直近の傾向からやや良くなる（東京都）。
	○	百貨店（財務担当）	・インバウンドの販売量については大きな変化はなく推移する見通しである。一方、国内客は経済対策等により更なる消費マインドの改善が見込まれ、販売量増大につながる（東京都）。
	○	コンビニ（エリア担当）	・最低賃金の改定により基本時給が上がり、デイリー商材を販売しているコンビニとしては、買上点数や単価の上昇を期待している。9月は降雨も少なく暑いままで季節商材が売れなかったが、冬本番になれば季節雑貨や温かい飲料などによる売上の伸長が期待できる。
	○	コンビニ（商品開発担 当）	・株価は引き続き好調である。総裁選挙で新しい風が吹けば、景気への更なる追い風になるかと期待している（東京都）。
	○	コンビニ（従業員）	・年末のイベントにより、少し忙しくなると予想している。プール営業時ほどの大きな変化はないものの、年末年始の予約商品の販売がある。夏の反動で9月は少し売上が落ちる傾向もあり、10月からの行楽シーズンではまた売上を伸ばしていける。

○	家電量販店（店長）	・新しい首相が物価高対策を講じることができれば上向きになる。国民生活に目を向けて、適切な物価対策が打たれれば、年末頃からはやや良くなるとみている。
○	家電量販店（店長）	・訪日旅行客数は今後も増加傾向の予測で、来客数も前年を上回るとみている（東京都）。
○	乗用車販売店（経営者）	・秋に向けて新型車の発表会やセールを行うため、効果が期待できる。
○	乗用車販売店（経営者）	・政権政党の総裁も変わるため、期待感が大きくなっている（東京都）。
○	住関連専門店（営業担当）	・来年度のリフォーム関連の国の補助金事業が不透明であるため、年内は駆け込み需要が起きる可能性がある（東京都）。
○	その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・政権政党総裁選挙の影響がどう出るか分からないが、通常はプラスになる。
○	高級レストラン（仕入担当）	・政権政党総裁選挙の影響を受け、年末に向けて消費が活発になり、景気は上振れすると予想している（東京都）。
○	高級レストラン（経理担当）	・米国との関税交渉が決着し、企業業績も見通ししやすい状況が浸透すると予測する。法人客の接待利用の動きも上向くとみている（東京都）。
○	一般レストラン（経営者）	・2～3か月先の12月は飲食業では一番の書き入れ時で忙しくなる。ケータリングも12月前半はクリスマスパーティーなどが結構あるため、今よりは若干良くなる。
○	一般レストラン（経営者）	・10月から宴会予約の料金を少し上げることになっている。それでも当店を使ってくれる客を大事にして、予約を取っていききたい（東京都）。
○	一般レストラン（経営者）	・季節指数を考えても良くなっていく（東京都）。
○	その他飲食〔カフェ〕（経営者）	・展示会を行ったため、売上は伸びてくるとみている。コーヒー豆の価格上昇を考えると、販売価格の見直しや生産性向上が必要である（東京都）。
○	都市型ホテル（経営者）	・今後も近隣大型コンベンション施設の予約状況が非常に良いため、宿泊については10月以降も好調が見込まれる。宴会等も忘年会シーズンに向けて活発になってくる見込みであり、やや良くなってくる。ただし、各種仕入れ関係や水道光熱費等、原価の高騰により収益悪化の懸念があることが不安材料である。
○	都市型ホテル（スタッフ）	・団体需要などで予約を確保できており、見通しは良い。
○	タクシー運転手	・やや涼しくなり、利用客が多少減ると予想していたが、意外と増えている。午前中の病院、会社の送迎も平均しており、ロングの客も昼夜問わずある。この状況がしばらく続けば良くなる。
○	通信会社（経営者）	・客の様子から、やや良くなる（東京都）。
○	通信会社（社員）	・祭りなどへの投資やイベント企画が積極的に行われている。明るい兆しが継続しており、景気が上向く期待がある（東京都）。
○	通信会社（社員）	・富裕層の拡大に伴い、季節イベント消費が活発になる（東京都）。
○	通信会社（経理担当）	・物価が上がり続けてはいるが、年末年始くらいは少しぜいたくをして、経済が明るくなってくれることを願っている。
○	通信会社（営業担当）	・組織変更による効果を実績に出始めている（東京都）。
○	観光名所（職員）	・メディアへの露出による好影響がどこまで続くかによる（東京都）。
○	観光名所（職員）	・大阪・関西万博が終了する10月中旬以降、関東圏への来客増加に期待している。また、政権政党総裁選挙の結果によっては景気への良い影響が生まれてくる（東京都）。
○	ゴルフ場（経営者）	・猛暑も去り、年末の流れが再開すれば、客の流れも回復する。
○	その他レジャー施設〔ボウリング場〕（支配人）	・今後の政治的な動きは分からないが、最近地域の雰囲気が新しくなってきたので期待している（東京都）。
○	その他レジャー施設〔ボウリング場〕（営業担当）	・企業や団体による予約が増加傾向にあり、年末に向かって需要が高まる気配がある（東京都）。

○	その他レジャー施設〔複合文化施設〕（財務担当）	・米国との関税交渉が一段落し、経済が落ち着く（東京都）。
○	その他サービス〔葬祭業〕（経営者）	・現状、季節の変わり目で忙しくなっている。
○	設計事務所（経営者）	・営業が頑張っているので仕事は取れているが、実際に仕事を手掛けるスタッフが少なくなっている。そういった意味では年々心配であるが、大変良い仕事に巡り合っている。
○	設計事務所（経営者）	・プロジェクトが動き始めそうである。今はまだ事前打合せの段階だが、数か月の間に具体的な打合せに入りそうな予定である。
○	設計事務所（経営者）	・資材が流通するようになり、取引も一時の買い控えではなく、現在の価格に対応した購買の準備をしている。
○	住宅販売会社（経営者）	・都内のホテル宿泊料金が上昇しつつあるため、ホテル業界、当社ホテル部門は良くなる。一方、建設業は、建設費の高騰により我々中小企業はまだ厳しい環境のなかにあり、賃上げができない。中小企業への景気対策が必要である。
○	住宅販売会社（従業員）	・問合せ件数が増加傾向にあることから、やや良くなっていく。
○	住宅販売会社（総務担当）	・株価が史上最高値を更新しており、景気も上向くとみている。
□	商店街（代表者）	・物価高が続き、10月も数千点の物が値上がりするという報道があるが、賃金はそれほど上がっていない現状からすると、買い控えが強まる。余り良くない状況だが、やむを得ない。
□	商店街（代表者）	・これから予定しているイベントへのレスポンスが、例年より鈍い。これまで微増ながら右肩上がりであったが、政治、世界経済などの不安要素によるマインドの下振れリスクがある。猛暑のリベンジ消費の流れが出てくれば多少は回復基調になる可能性がある（東京都）。
□	一般小売店〔乳業〕（経営者）	・業務委託先の稼働状況次第である（東京都）。
□	一般小売店〔傘〕（店長）	・購買につながる好材料が見つからない。
□	一般小売店〔生花〕（店員）	・今月のお彼岸、12月のクリスマス、どちらも花屋にとっては大イベントである。当店の場合、お彼岸の方が単価は低いものの来客数がかなり多いため、売上はやや良い。9月も12月もほどほどに売れる（東京都）。
□	一般小売店〔茶〕（営業担当）	・お先真つ暗である。従業員は全員頑張っているのだが、いつ会社が潰れてもおかしくない。それほど当社にとっては景気が良くない（東京都）。
□	一般小売店〔書店〕（総務担当）	・外国為替の変動によって状況が左右される可能性はあるが、現時点では売上を伸ばす要因に乏しい。仮に総裁選挙で教育関連の予算や使途が示されたとしても、当社の売上増加に直結する可能性は低く、少なくとも数か月以内には影響が見込めない（東京都）。
□	百貨店（総務担当）	・気候により売上に変化が出る状態では、消費から本来の景気上昇が見込める感じではないと考えている。物価高も続いており、消費者心理の改善も見込めず、先行きは不透明である（東京都）。
□	百貨店（総務担当）	・前年後半はインバウンドの伸びが落ちていたこともあり、このままの状況で推移する（東京都）。
□	百貨店（営業担当）	・インバウンドは回復の兆しがみられず、国内は値上げの話ばかりで、消費が上向く材料が見当たらない（東京都）。
□	百貨店（営業担当）	・消費の勢いはあるものの、値上げがまだ続いていることを考えると、景気上昇までは難しい（東京都）。
□	百貨店（営業担当）	・ここ数か月は同じトレンドで、売上、利益共に中程度の水準で、継続的に薄い利益が出続けている。国内客の日常生活をサポートする業態としては、インバウンド、春節にも影響を受けず、このまま変わらない（東京都）。
□	百貨店（営業担当）	・依然としてインバウンドは流動的で、景気の回復にはつながらない（東京都）。
□	百貨店（販売促進担当）	・物価高に対して、政府が様々な対策を実施、検討しているものの、食品を始め、今後も価格が上がるニュースもあることから、消費者の行動は変わらない。

☐	百貨店（企画宣伝担当）	・株価上昇や新しい首相への期待など好材料はあるものの、継続性があるかは不透明である。
☐	百貨店（管理担当）	・継続的な値上げや不安定な気温の影響で、消費者心理が冷え込む（東京都）。
☐	百貨店（店長）	・10月からの最低賃金の見直しに対応できない企業が増えてくることが想定される。また、低賃金の小売業では従業員の離職が想定されるため、経営状態が厳しくなる。
☐	スーパー（経営者）	・賃上げや最低賃金上昇が可処分所得の増加につながっていない。
☐	スーパー（経営者）	・原材料の値上げが止まらず、先行きが不透明である（東京都）。
☐	スーパー（店長）	・商材の価格改定がまだ続いており、客も販売価格に敏感になっている。野菜や魚、肉などの生鮮品の相場が上昇基調になっており、1品単価は引き続き上がるものの、買上点数が緩やかに減少している。
☐	スーパー（店長）	・消費者には節約志向が依然として根付いており、値上げの影響も大きい。日々の生活のなかで物価の上昇を実感せざるを得ない状況では、所得水準が更に上昇しないことには、まだしばらく現状が続く（東京都）。
☐	スーパー（総務担当）	・良くなる要因がない。
☐	スーパー（営業担当）	・単価の上昇、来客数の減少傾向はまだ続くとみられる。販売量の増減が今後の売上を左右する要因となる（東京都）。
☐	スーパー（食品担当）	・前年にはなかった競合店オープンの影響により、1年間は苦戦する（東京都）。
☐	スーパー（販売担当）	・まだ値上げが続くため変わらない。
☐	コンビニ（経営者）	・今のところ、近隣にスーパーができた影響で年末年始はやや厳しくなりそうである。
☐	コンビニ（経営者）	・来客数の前年回復を目標としているものの、厳しさが続きそうである。
☐	コンビニ（経営者）	・経済政策によって具体的に所得が増える状況がみえない。例えばお金があったとしても消費志向は高くないとみている。
☐	コンビニ（経営者）	・物価高は続く見込みであり、政治経済もこれといったトピックはない。今のところ良くなる兆しは見いだせないため、特に状況は変わらない（東京都）。
☐	コンビニ（エリア担当）	・前年比では好調な状態を維持していく見通しだが、販売促進対象商材の売行きによっては落ちる可能性もある（東京都）。
☐	コンビニ（エリア担当）	・物価高もあり現在よりも更に良くなるとは考えにくい、悪くはならず現状維持ではないかとみている。
☐	コンビニ（従業員）	・冬に入っても特に大きな動きはなさそうである。景気に関しては流動的かとみられるが、消費者の所得が増える大きなきっかけや期待できそうな政策などがあると、購買の動きも変わってくる。
☐	衣料品専門店（店長）	・物価の上昇がやや落ち着いたようにみられるが、一時的なものかもしれない。
☐	衣料品専門店（店長）	・依然として物価上昇に伴う消費者の生活防衛消費への流れから、着物、ドレス等の非日常商材を扱う当社は、一定の富裕層を対象としたビジネスに特化せざるを得ない（東京都）。
☐	衣料品専門店（役員）	・相変わらず財布のひもが固い。衣料品業界はまだ厳しそうである。
☐	衣料品専門店（従業員）	・この先もまだ少しずつ物価が上昇する傾向が見受けられる。社会的な不安も残り、衣料品を買うところまではいかない。
☐	家電量販店（店長）	・物価高対策に期待できないため、しばらくは現状のまま変わらない。買物に慎重な客も多い。
☐	乗用車販売店（経営者）	・自動車の整備は順調に入っている。販売は余り良くなかったのだが、新型車が出たことで来客数が増えているため、この先少しは良くなる。
☐	乗用車販売店（営業担当）	・このまま年末まで流れると予想している。

☐	乗用車販売店（販売担当）	・輸入食料品の価格が異常に高くなっている。電気やガス、消耗品も値上がりしている。一方、賃金がそれに見合うほど上がっているかという、一部の大手企業ではそれなりに上がっているようだが、中小企業ではほぼ上がっていない状態が続いているため、この先も現状のまま変わらない。また、ロシアによるウクライナ侵攻、イスラエルのガザ攻撃などが景気にも悪影響を与えている（東京都）。
☐	乗用車販売店（渉外担当）	・販売量の増減に影響を及ぼす要因が見当たらない。
☐	乗用車販売店（営業担当）	・新車販売は苦戦しているものの、中古車販売は好調である（東京都）。
☐	住関連専門店（店員）	・何の対策も採られていない（東京都）。
☐	その他専門店〔ドラッグストア〕（経営者）	・価格へのシビアさが増しているため、年末商戦も厳しくなる。
☐	その他専門店〔貴金属〕（統括）	・販売数量の減少、販売単価の上昇共に一段落してきていることから、大きな変化はない（東京都）。
☐	その他専門店〔ガソリンスタンド〕（団体役員）	・ガソリンの暫定税率廃止はほぼ確定とみられるものの、財源確保のため何らかの税制が附加されることが予想されるため、結果的に現状と変わらない（東京都）。
☐	その他小売〔生鮮魚介卸売〕（営業）	・この先の正月需要も年々下火になっているため、期待は薄い（東京都）。
☐	高級レストラン（営業担当）	・法人関連の宴席予約の推移は、ほぼ前年と同様の推移をしている（東京都）。
☐	高級レストラン（役員）	・この先も物価高が続き、厳しい状況は変わらない（東京都）。
☐	一般レストラン（経営者）	・3か月後も物価高などで景気が良くなる気配はない。富裕層と年金生活で厳しい人との格差があるため、3か月後も今と変わらない。
☐	一般レストラン（経営者）	・政権政党総裁選挙の結果による。貸借対照表重視の緊縮経済が続く限り、日本の経済力は回復しない。公共投資を増やし、国内経済の活性化を図るべきだと考える。消費税についても議論をして変更してほしい。レジ等の改定作業の煩雑さを避けるために、統一規格を設ける必要がある。
☐	その他飲食〔カフェ〕（経営者）	・駅周辺が5年、隣接地が8年という再開発が進んでいる。その計画の外にある当地域にもその余波が及んでいる（東京都）。
☐	その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	・特に大きな景気上昇要因がない限りは、10月も今月と同等の状況になる（東京都）。
☐	都市型ホテル（スタッフ）	・不安定になっている政局がどうなるか次第で景気もかなり変わってくる。
☐	旅行代理店（経営者）	・政権政党総裁選挙もあるし、とにかく米の値上がりが激しいため、大変である。景気が良くなってほしいとは願うものの、決して良くならない。現状のまま変わらない。
☐	旅行代理店（従業員）	・大阪・関西万博も終了し、インバウンドマーケットも落ち着く見込みである（東京都）。
☐	旅行代理店（従業員）	・これ以上の旅行費用の増加が続くと、例年実施している団体でも中止や縮小を考え始めるのではないかと不安がある。
☐	旅行代理店（従業員）	・上期は大阪・関西万博があったが、下期は特にイベントもなく、引き続き物価高や円安の影響で伸びる気配は乏しい（東京都）。
☐	旅行代理店（営業担当）	・前回の選挙後も政治に大きく変わったところがないため、経済的な動きもみられない（東京都）。
☐	タクシー運転手	・特別良くなる気がしない。例年どおりの売上で変わらない（東京都）。
☐	タクシー（団体役員）	・夜間や深夜帯の利用が全くなく、売上の伸びが期待できない。
☐	通信会社（経営者）	・案件の受注及び工事等が増加傾向ではないため、この先の景気は変わらない（東京都）。
☐	通信会社（営業担当）	・節約やコンパクト化を目指す消費者の全体的な流れに大きな変化はない。
☐	通信会社（局長）	・現在の政治経済環境下では景気が浮上する要素が余りない（東京都）。
☐	通信会社（営業担当）	・良くなる材料がない。

□	通信会社（経営企画担当）	・見通しはまだ安定していないが、しばらくは今月同様少しずつ伸びると予想している（東京都）。
□	通信会社（営業担当）	・いろいろな物が値上がりするなか、賃金が上がらない限り、景気は上向きにならない（東京都）。
□	通信会社（管理担当）	・契約数が伸び悩む状況は早急には変わらない。やや悪い状況が続く（東京都）。
□	通信会社（管理担当）	・物価上昇の影響から引き続き個人消費が落ち着くこと、年度末に向けた需要の落ち着きとのバランスを考えると、同程度になる（東京都）。
□	通信会社（営業担当）	・総裁選挙の結果によりどのくらい変化があるか分からない（東京都）。
□	通信会社（経営企画担当）	・映像視聴及び通信需要は短期的な経済状況に左右されていない（東京都）。
□	その他レジャー施設〔ボウリング場〕（従業員）	・予約の問合せが減っている（東京都）。
□	その他レジャー施設〔映画〕（営業担当）	・企業業績は悪くなく、株価も安定している（東京都）。
□	その他レジャー施設〔総合〕（経営企画担当）	・物価上昇や住宅ローン金利上昇による心理的な節約志向は続くと思われるが、一方で株価が高水準で推移しており、景気が大きく変動する要素は少ない（東京都）。
□	その他サービス〔フィットネスクラブ〕（エリア統括）	・物価の上昇が家計を圧迫し続けているなか、政治が停滞している（東京都）。
□	住宅販売会社（従業員）	・11月に来年度の政策補助金が発表されれば客の動きが出てくる。住宅ローン金利は上昇しそうだが、建て替えは底堅い需要があるため、販売量も現状維持が続く。
□	住宅販売会社（従業員）	・客の動きに変化はない。
▲	一般小売店〔家電〕（経営者）	・リフォーム関係や工事の話などはあるが、かなり厳しい価格をいわれるケースが多々ある。そういう仕事を無理にやると赤字になってしまうため、様子をみながらという形になる。先が見えないため、やや悪くなる（東京都）。
▲	一般小売店〔家電〕（経理担当）	・9月、10月と売れる主力商材がないため、売上は望めない。量販店などは住宅設備商材に力を入れているようだが、当店でもほかにも販売する物を考える時期にきている。
▲	一般小売店〔家具〕（経営者）	・物価が上がっているため購買意欲がそがれている。また、米価も大分上がっているため、消費者の財布のひもが固くなっていき、やや悪くなる（東京都）。
▲	一般小売店〔米穀〕（経営者）	・食料品全般で物価が上がっている。クリスマスや正月商戦に向けた食材や伝統的な材料が高騰し、財布のひもが固くなる（東京都）。
▲	一般小売店〔酒類〕（経営者）	・暑さは落ち着いてきたものの、諸物価の上昇による節約志向を強く感じる。
▲	百貨店（総務担当）	・最低賃金の改定に伴う人件費上昇により、企業負担も増加していることから、本来購買力のある中所得者、高所得者に対して賃金上昇の不透明感が強まり、ますます財布のひもを締める動きが強まるとみている。外国人観光客の誘致についても一巡した感があり、今までのように絶えず増加していくことは見込めないため、現状維持、若しくは悪化傾向に進んでいくとみている（東京都）。
▲	百貨店（総務担当）	・多岐にわたる商材の値上げ等、消費に対して慎重な姿勢が続くことが予想される。
▲	スーパー（経営者）	・食品の値上げが相次いでおり、生鮮食品も品薄、高値の状況が続いている。そうしたなかで、来客数、買上点数の落ち込みが激しく、単価上昇だけではカバーし切れない。この先もこの状況が続くそうであり、今月は特に良くないため、先行きは非常に不透明で樂觀できない。
▲	スーパー（経営者）	・可処分所得が増えないことには、景気は良くならない。
▲	スーパー（仕入担当）	・食品の値上げが続いており、生活者の節約志向は高まっていく。
▲	スーパー（ネット宅配担当）	・最低賃金の上昇により利益が圧迫される。

▲	コンビニ（経営者）	・本部提供の商材のマンネリ化が進み、若年層の客のニーズに応えきれず、近隣大型店や専門店に客が流れ、ますます厳しくなる。
▲	コンビニ（経営者）	・来客数が前年比で10%程度落ちている。消費期限の改ざん問題の影響で、手作りのおにぎりや弁当などの販売はまだ再開していない。少しずつ準備を進めているが、販売を再開し、客から再び認められるまでは、現状が続いていく。
▲	コンビニ（経営者）	・景気が良くなる感じがしない。客からも同様の声を聞いている。10月から最低賃金が引き上げられるため、店舗自体が持ちこたえられるか不安である。
▲	コンビニ（エリア担当）	・近隣に競合店が開業し、来客数がやや落ち込んでいる（東京都）。
▲	コンビニ（エリア担当）	・10月に入り、価格改定がまた実施されることから、今まで以上に客足が遠のくことが予想される。2～3か月後は悪くなるのではないかとみている。
▲	衣料品専門店（経営者）	・物価高が続いている。中小の小売店では従業員が高齢化しており、当地では飲食店と繊維関係で何軒か廃業が出ている。特に、学校に納入しているところの廃業が続いて、地域では大変困っている。
▲	乗用車販売店（総務担当）	・先行きが不透明であり、買い控えが続くとみている。
▲	乗用車販売店（店長）	・コストが増大しているため、やや悪くなる。
▲	乗用車販売店（営業）	・販売車種が少なくなっているため、販売量が減少する。
▲	その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・経済対策もどっちつかずで当てにできないため、将来不安が払拭できない（東京都）。
▲	一般レストラン（経営者）	・経済対策を早く打たないことには、仕事が終わってからお酒を飲むという環境がすたれてしまう。安い酒を飲みに出歩く人しかいなくなってしまう。
▲	その他飲食〔給食・レストラン〕（役員）	・10月から最低賃金の引上げが実施され、その影響が非常に大きいことから、利益が一段落ちると想定している（東京都）。
▲	旅行代理店（営業担当）	・物価が上昇しても賃金は変わらないため、宿泊ではなく日帰り旅行が増えている。
▲	タクシー運転手	・前年から物価の上昇が激しく、来月以降も年末に向けて値上がり加速していくような話で、消費者は頭を痛めている。物価上昇が収まらないと正月頃は危ない。
▲	タクシー運転手	・この先、例年どおり涼しくなると、今まで利用してきた客が多少減る。ただし、12月頃になると年末ということでまた忙しくなる（東京都）。
▲	ゴルフ場（経営者）	・最低賃金の大幅上昇があり、そろそろ雇用人数を減らして対応するしかない状況である。中小企業の体力を考えていない改定にへき易している。また、社会保険料の企業負担もじわじわと増えている。景気を悪化させる政策はそろそろ何とかしてほしい。
▲	ゴルフ場（経営者）	・止まらない物価上昇の影響により、レジャー消費はますます冷え込んでいくことが予想される。日経平均株価は高値を更新し続けているが、末端のレジャー施設、スポーツ施設への影響は皆無であり、冬のボーナス商戦に向けて何か策を講じなければ、ジリ貧になっていきかねない。
▲	ゴルフ場（従業員）	・どんなに政治家が賃上げを主張しても、大企業と違い、中小企業ではその財源確保が非常に難しい。中小企業の多い周辺においては当社と同じ状況のところほとんどである。
▲	パチンコ店（経営者）	・まだ賃上げが物価上昇に追い付いていない。最低賃金が改定されるとはいえ、物価高の流れは変わらず、先行きに不安が残る。
▲	その他サービス〔学習塾〕（経営者）	・物価の上昇が止まらないことから、教育費に掛ける割合が減り、生徒も減少し続けている。景気は良くならない。
▲	その他サービス〔立体駐車場〕（経営者）	・物価高に加え、近隣に商業施設が増えないために街が活性化していない。当社も影響を受けている。
▲	その他サービス〔保険代理店〕（経営者）	・商材の比較説明をしても、大きな値上げ感から購入を控える客が多い。
▲	その他サービス〔学習塾〕（経営者）	・新規問合せ件数が減少しているため、やや悪くなる。
▲	設計事務所（所長）	・受注のめどが立っていない。

	▲	設計事務所（職員）	・ 良化すると判断できる材料がない（東京都）。
	×	通信会社（管理担当）	・ 物価の上昇により販売数は横ばいである。
	×	ゴルフ場（経理担当）	・ 参議院選挙が終わり2か月が経過しても、相変わらず素材、エネルギー価格の高止まりは収束の兆しをみせず、固定費の回収すら苦慮し、利益を創出できない経営環境が続いている。3か月後に当たる12月は例年少雨もあって底堅い需要が見込めるが、現下の物価上昇、実質賃金の低下により、生活防衛が意識され高額レジャー支出の抑制行動が顕著化している状況に鑑みれば、景況感の回復を展望することは困難である。
	×	競輪場（職員）	・ 経営判断により一部事業の一時休止を判断したため、悪くなる。
	×	その他住宅〔住宅資材〕（営業）	・ 建材需要は新築着工数に左右されるが、上向くことはない。今後はリフォーム需要を取り込めるところしか生き残れない（東京都）。
企業 動向 関連 （南関東）	◎	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・ 10月以降、受注量が増加する予定ではあるものの、実際にどうなるかは分からない（東京都）。
	◎	その他サービス業〔ソフト開発〕（従業員）	・ 7月の定期昇給も前年を上回り、受注量も増えてきている。
	◎	その他非製造業〔商社〕（従業員）	・ 受注見込みが増加している（東京都）。
	○	食料品製造業（経営者）	・ 秋にかけてイベントが続くため、良くなっていく。
	○	金属製品製造業（経営者）	・ 年内一杯は見通しがついたという同業他社が以前より増えている。当社もこの流れに乗りたいところである。
	○	一般機械器具製造業（経営者）	・ メインの取引先から今後取引量が増えるとの内示が出ている。
	○	電気機械器具製造業（企画担当）	・ 現在のA I 関連受注拡大の好影響はしばらく続くと予測している。
	○	広告代理店（経営者）	・ 今後は猛暑が落ち着き、季節需要の回復が期待できる。飲食店では秋冬に向けた新メニューやキャンペーンの準備が進んでおり、来店需要の回復に向けた取組がみられる。当社への依頼に関しても、年末商戦や忘年会シーズンに合わせたメニュー改定や販売促進関連の制作相談が始まっており、一定の需要増加につながる可能性がある。急激な回復は見込みにくいものの、現状よりはやや改善する見通しである（東京都）。
	○	税理士	・ 猛暑であった夏の気配がようやく秋めいてきて、外出機会が増え、活動範囲が広がる様子がうかがえる。大阪・関西万博への駆け込み需要もあった。総裁選挙による首相交代への期待は想定以上に大きいとみている。
	□	化学工業（従業員）	・ 輸出は少し受注が増加しそうだが、国内の建築関連はやや減少しそうである。
	□	プラスチック製品製造業（経営者）	・ 現時点では低迷しているが、新企画が具現化すれば一気に利益が生じる。
	□	輸送用機械器具製造業（総務担当）	・ 自動車メーカーが米国現地生産を増やす方針を明確に打ち出していないため、下請企業は今までどおりと認識している。
	□	建設業（経営者）	・ 物価はどんどん上がっているが、それに比例して所得が上がっていないため、経済が回っていない。景気は現状のままだが当分続く。
	□	建設業（従業員）	・ 物価や燃料費の高騰が落ち着いてほしいが、難しい問題である。このままでは日々の生活が不安である。
	□	輸送業（総務担当）	・ 荷主の国内出荷量はまだ低迷が続いている。今後もこの状況が続く予想である。
	□	通信業（広報担当）	・ 低迷している状況がしばらく続く見込みである（東京都）。
	□	金融業（従業員）	・ 米国の関税政策など不透明な経済情勢や仕入価格の上昇により、利益の確保が難しい局面となっている。多くの業種で課題となっていた価格転嫁については、社会に価格転嫁への理解が広がったと感じるという声が聞こえている。賃上げなど経費の増加も加味した設定価格の見直しに取り組む事業者もある（東京都）。

□	金融業（総務担当）	・来月も食品を中心に値上げが実施される予定で、小売業にはマイナスの影響がある。運送業は、燃料費の高騰、人手不足による利益減少が今後も続きそうである。建設業は原材料価格の高騰が続いているため、価格転嫁をしても利益は減少傾向である。更に最低賃金が増えることで、中小企業では人件費上昇が経営に響いてくる。ここに来て融資延滞が増えており、特に、住宅ローンや個人ローン先が多くなっていることに鑑みると、個人客も厳しくなっていく（東京都）。
□	金融業（営業担当）	・取引先各社からは、現状の低水準の受注は米国の関税政策等の間接的な影響であり、先の受注はみえているが時期が不明という話が多く聞かれる。受注回復の水準、回復時期は不透明であり、当面は現状程度の推移が見込まれる。
□	不動産業（経営者）	・インターネット経由での問合せが増えている。今日も数件あり、早速返事をしたが、なかなか反応がない（東京都）。
□	不動産業（経営者）	・賃貸物件の入居率に変化はない。テナントからの情報では、客足は横ばいで推移するとみられるが、物価高、人手不足により利益率は下がる一方とのことである。しばらく改善は見込めず、景況は変わらない。
□	不動産業（総務担当）	・引き続き世界経済は先行きの不透明感が強いが、賃貸マーケットには遅れて影響が出るため、当面は現在の好調を維持できる（東京都）。
□	広告代理店（従業員）	・先行きが不透明であるため、良くなるとはいえない（東京都）。
□	税理士	・日本の景気は米中の景気に大きく左右される。米国の関税政策によりどの程度影響を受けるかと思ったが、15%の関税分がどこかで吸収されているのか、それほど変わらない。円安なので大企業は利益が出ており恩恵を受ける一方、下請の中小企業は大分影響を受けており、材料高、人手不足、人件費高騰で経営状況が悪いところが多い（東京都）。
□	社会保険労務士	・良くなる要因が見当たらない（東京都）。
□	経営コンサルタント	・景気は芳しくないまま推移する。AIなどの進展でITをうまく事業に活用できている企業は伸びる可能性がある。今後は、いろいろな分野の自動化が課題になる。公共事業は、重要なエネルギーや道路、その他の基盤インフラの老朽化が問題だが、政府の後押しが不足している（東京都）。
□	その他サービス業〔警備〕（経営者）	・しばらく大きな変化がないまま推移する。
▲	食料品製造業（経営者）	・値上げに対する慣れはあるとみられるが、家計自体は追い付いていない（東京都）。
▲	出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・今までは年賀状や喪中はがきの印刷がかなりあったが、今日では年賀状離れが進み、紙ベースのものがなくなっている。これは景気というよりも時代の流れである。僅かに明るい部分としては、外国人が増えてきて、郵便局の口座を作るために印鑑が必要ということで単価は安いものの一定の本数が出ている。全体的には紙離れということで悪くなる見通しである（東京都）。
▲	化学工業（総務担当）	・1～2か月先の受注が想定していたほど入っていない。
▲	金属製品製造業（経営者）	・経済は良くなっていないが、賃上げを進めているため、中小企業は無理な賃上げで苦しいところに、仕入価格の上昇があり、厳しくなっている。部品単価を上げることは、競合先が国内であれば問題はないが、中国や東南アジアとの価格比較となると現在の単価でも日本製は高いため、厳しい。
▲	精密機械器具製造業（経営者）	・3か月先くらいから受注量、金額共に20%ダウンという厳しい内示が提示されている。
▲	建設業（経営者）	・物価高で予算が合わず、入札が不調となることが多くなってきている。
▲	建設業（営業担当）	・打合せ物件数が少ない上に、工事内容は小規模改修の物件が多く、受注に際しての競争も多いため、確実な受注が見込めない。
▲	輸送業（経営者）	・現在進行中の取引先の配送ルートの見直し、再検討に伴う運賃収入の減少と、車両や燃料を始めとする資材価格の高騰、高止まりにより、収益の悪化が危惧される（東京都）。

雇用 関連 (南関東)	▲	金融業（支店長）	・ 中小零細企業は人材確保のために多大な経費を投入し、雇用の維持に努めているが、原材料価格の上昇も重なるなか、発注先からの単価は思うようには上がっておらず、赤字の取引先が多くなってきている。
	▲	広告代理店（営業担当）	・ 中長期的な大型案件の話が入ってきていないため、先行きは不透明である（東京都）。
	▲	経営コンサルタント	・ 賃金上昇分を補う価格転嫁を上回る形で物価高が続くとみられる。消費者の財布のひもは固く、賃金上昇分がプラスの効果を生み出すような消費には回っていない。
	▲	その他サービス業〔廃棄物処理〕（経営者）	・ 来月から追い打ちを掛けるように原材料等の値上げがある。また、取引先工場の移転、閉鎖などもあり、しばらく低迷が続く。
	×	出版・印刷・同関連産業（所長）	・ 10月からの用紙や配送運賃値上げが確定し、厳しい状況が更に続くことが予想される（東京都）。
	×	建設業（経営者）	・ 政策の効果が出ていない。
	×	その他サービス業〔ビルメンテナンス〕（経営者）	・ 最低賃金の大幅な上昇により人件費が増加する（東京都）。
	◎	—	—
	○	人材派遣会社（社員）	・ 条件より、価値観に合った優秀な人材が集まりやすい（東京都）。
	○	人材派遣会社（営業担当）	・ これから年末、年度末に向けて各企業も繁忙期に入ってくるため、求人数の増加が見込まれる。時期的な需要や短期間での採用も増えてくるとみられるため、今月よりは良くなる（東京都）。
	○	職業安定所（職員）	・ 有効求人数が3か月連続で増加しており、当面この傾向は続く。
	□	人材派遣会社（支店長）	・ 人手不足感から時給の上昇圧力がある。一方、企業への請求交渉にも限度があるため、条件で折り合わなくなるケースが増えていくことが予想される（東京都）。
	□	人材派遣会社（社員）	・ 年末に向けて、今後も人材不足の状況が続く。
	□	人材派遣会社（社員）	・ 景気が急に上向きになるような理由が見つからない（東京都）。
	□	人材派遣会社（社員）	・ 求人数に大きな変化はない。
	□	人材派遣会社（社員）	・ 大きなイベントも見込まれず、横ばいが続く（東京都）。
	□	人材派遣会社（営業担当）	・ 自動車業界ではまだエンジニアの派遣ニーズ低下はみられず、今後も継続する見通しである（東京都）。
	□	求人情報誌製作会社（経営者）	・ 最低賃金の上昇や物価高の影響など、新規雇用の生まれる要素が乏しく、労働市場の冷え込みは地域経済の冷え込みにつながる（東京都）。
	□	求人情報誌製作会社（広報担当）	・ 今のところまだ世界情勢に左右されない企業も多数あるとみられるため、急速に景気が悪くなることはない（東京都）。
	□	求人情報誌製作会社（所長）	・ 最低賃金引上げの影響により、まだ鈍化が続く。
	□	求人情報誌製作会社（営業）	・ まだ先行きが見通せないとみている企業が多く、良くなるとは考えられない。
	□	民間職業紹介機関（経営者）	・ 製造、販売含めて企業から幅広い職種の求人があり、現時点ではすぐ変わるような状況ではない（東京都）。
	□	学校〔大学〕（就職担当）	・ 求職者の動きが読みにくい（東京都）。
	▲	人材派遣会社（社員）	・ 物価の上昇に歯止めが掛からない一方、賃金は上昇していない（東京都）。
	▲	人材派遣会社（社員）	・ 毎年12月は求人依頼が減る傾向にある。年末の12月や年始の1月に求人を出すより、3月、4月スタートの求人を1月末から2月に出す傾向が強いためである（東京都）。
	▲	職業安定所（職員）	・ コスト増加による収益悪化や、人手不足による受注減少など、周辺企業から先行きに対する不安の声が多く聞こえてくる。
	▲	職業安定所（職員）	・ 求人数が減少傾向を示し始めているが、求職者数は増加傾向のため、有効求人倍率は下がり始めている。
	▲	職業安定所（職員）	・ 求人数に足踏みがみられる（東京都）。
	×	—	—